

平成24年度五霞町役場温室効果ガス削減計画実施結果

役場では第2次五霞町役場温室効果ガス削減計画（平成19年～平成24年度の6年計画）に基づき、地球温暖化の原因とされる温室効果ガスの削減に取り組んできました。

内容は、基準年（平成17年度）に対し電気使用量が約7.2%、公用車燃料使用量が約5.5%をそれぞれの削減目標としています。

実施結果について

①電気使用量

電気使用量は表1のとおりです。

平成24年度は、基準年に対して42,000kwhの削減を目標としていましたが、目標を大きく上回る107,325kwhの削減ができました。

②公用車燃料使用量

公用車燃料の使用量は表2のとおりです。

平成24年度、役場で管理している公用車は40台あり、基準年に対して1,5000lの削減を目標にしましたが、結果は目標を大きく上回る4,3290lの削減ができました。

③二酸化炭素排出量

電気使用量の実施結果を二酸化炭素に換算すると、257,088kgを排出したこととなり、基準年からは59,029kgを削減することができ

ました。一方、公用車燃料使用量では53,179kgを排出したこととなり、基準年からは10,043kgの削減ができました。

電気使用量及び公用車燃料使用量の二酸化炭素削減量を合わせると、69,072kgという結果です。

一般家庭において排出される二酸化炭素の量は、年間で約5,900kgといわれておりますので、平成24年度については、約12世帯分の二酸化炭素を削減できたこととなります。

④今後について

第2次五霞町役場温室効果ガス削減計画の計画期間が満了し、今年度から新たな第3次計画（平成25年度～平成32年度の8年計画）に基づき、温室効果ガスの削減に取り組んでいます。

なお、第3次計画による新たな削減目標は、平成32年度までに、基準年（平成17年）に対して電気使用量を9.6%、公用車燃料使用量を5.6%の削減としております。

(単位：kwh)

表1

施設名	基準年の電気使用量	平成24年度		比較増減(対基準年)	削減率(対基準年)
		年間電気使用目標値	実施結果		
五霞町役場本庁舎	236,821	219,871	197,260	△39,561	△16.7%
五霞ふれあいセンター	28,617	26,517	28,223	△394	△1.4%
こか西児童館	13,833	12,783	8,286	△5,547	△40.1%
こか南児童館	12,807	11,907	12,243	△564	△4.4%
保健センター	67,764	62,724	63,193	△4,571	△6.7%
中央公民館	118,423	109,603	85,206	△33,217	△28.0%
B&G海洋センター	96,492	89,352	73,021	△23,471	△24.3%
合計	574,757	532,757	467,432	△107,325	△18.7%

(単位：l)

表2

基準年の燃料使用量	平成24年度		比較増減(対基準年)	削減率(対基準年)
	年間燃料使用目標値	実施結果		
27,251	25,751	22,922	△4,329	△15.9%

今後更なる削減に向け、各種施策を展開していく予定です。

お問い合わせ

建設環境課 生活環境G
☎(84)3618 (直通)

防災行政無線を用いた全国一斉緊急情報 伝達試験のお知らせ
(総務課)

9月11日(水)午前11時頃と午前11時30分頃の2回実施します。

町では、地震や武力攻撃などの災害時に、全国瞬時警報システム(※J-ALERT)から送られてくる国からの情報を、確実にみなさんにお伝えするため、町内で緊急情報伝達手段の試験として、次のとおり行政防災無線の試験放送を行います。

※J-ALERTとは、地震・津波や武力攻撃などの災害時に国から送られてくる緊急情報を人工衛星などを活用して瞬時に情報伝達するシステムです。

○防災行政無線の放送

次の放送内容が一斉に放送されます。

「これは、試験放送です。」×3回

○注意

・五霞町以外の地域でも、全国的に様々な情報伝達手段で試験が実施されます。
・試験当日、災害発生・気象状況により、中止する場合があります。

○お問い合わせ

総務課 行政・防災G
☎(84)1111 (内線211)

